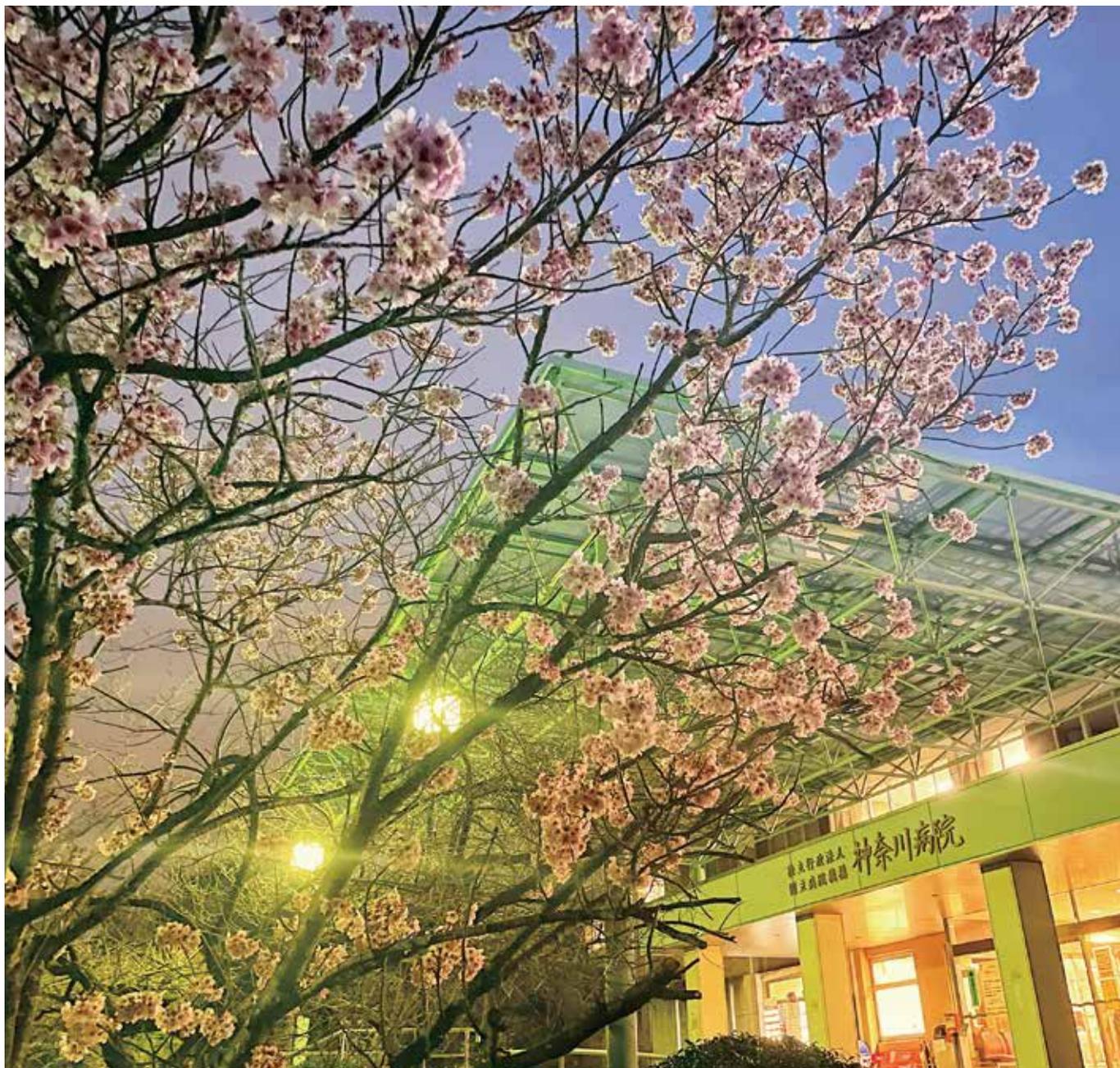


神奈川病院だより

基本理念 私たちは地域の皆様から信頼される病院づくりに努め常に新しく良質な医療の提供をします



正面玄関の夕桜

第70号 目次

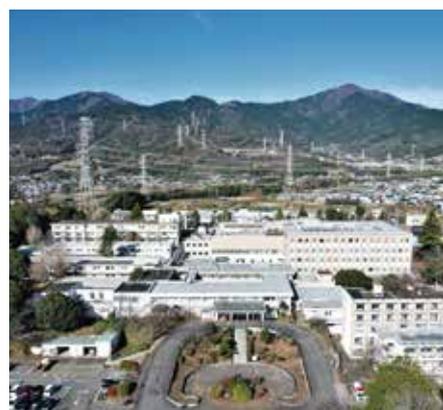
- | | |
|---|-----------------------------|
| ○着任挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・2-3 | ○出張講座はじめました！～南が丘中学校～・・・・・・6 |
| ○能登半島地震災害医療班派遣活動より
(1月21日から25日まで 5日間)・・・・4-5 | ○地域医療機関紹介・・・・・・・・・・・・・・7 |
| | ○各科診療担当表・・・・・・・・・・・・・・8 |

このたび、独立行政法人 国立病院機構 神奈川病院の院長に就任いたしました中村守男と申します。当院は戦前の1939年（昭和14年）4月に「傷病軍人神奈川療養所」として創設され、私で16代目となります。

私はコロナ禍真っ只中の2021年（令和3年）4月に副院長として赴任し、「国立病院機構人」としては「オールドルーキー」から未だ「駆け出し」の段階でございます。この3年間は、感染対策や医療安全をはじめとする院内全般の諸事を統括して参りました。コロナ対策ほか難題の数々に試行錯誤する日々でありましたが、気力と能力を持ち合わせた多部門の職員達との関係が短期間で構築できたと自負しております。

2020年（令和2年）初頭に発したコロナ禍は、全てのひとの生活環境・様式を変化させました。当院も医療をとりまく社会状況の変移に苦闘を強いられ、2021年（令和3年）3月に念願の新病棟開棟後も、新しい設備を最大限に活用し患者さん方の診療に還元するに至っておりません。私達には、6グループ140病院・総職員6万2千人の国立病院機構の一員として、責任と誇りを持ち、地域医療とセーフティネット医療（他の医療機関ではアプローチが困難な分野の医療）の貢献を追い求める責務がございます。

今後は主戦場を院外へシフトし、地元医師会・行政・大学・看護学校そして機構本部の協力・支援の体制を立て直し、職員確保はじめ当院の抱える諸問題の解決に全力を尽くしたいと思います。「信頼される病院」「良質な医療の提供」という2大理念を礎に、西に富士山、北に丹沢山系、南に秦野市街を望む素晴らしい自然環境の元で「そら色の病院」の復興のため、皆様方からの温かいご支援とご助言を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



着任挨拶

副院長 布施川 久恵

この4月より副院長を拝命いたしました布施川久恵です。専門は臨床検査医学で東海大学医学部臨床検査学教室に在籍していました。神奈川病院には、平成15年に当院に赴任し、21年が経過しました。自然豊かで四季の移ろいを楽しめる病院の環境が大変気に入っています。私は呼吸器疾患患者さんの診療、検査科業務、感染対策、医療安全、褥瘡対策、在宅・地域医療の業務などを行っています。また、病診連携では呼吸器科外来と地域の医療機関から紹介いただいた患者さんの腹部超音波検査を施行し検査結果をお返ししています。これからも日々精進し、病院スタッフと力を合わせて地域の皆様に、質の高い医療を提供できるよう貢献できればと思っております。どうぞよろしく願いいたします。



事務部長 町田 裕

4月1日付で事務部長として着任いたしました町田裕と申します。今回の異動で11施設目となりますが、神奈川県病院は今回が初めてとなります。

前勤務地は群馬県の沼田病院で、河岸段丘が有名で周りを山に囲まれた場所でした。元々私は自然が好きだったので、赤城山や武尊山等に登ったり、釣りをしたりと自然を楽しむことができました。今回初めて神奈川病院に来ましたが、病院に着くまでの鬱蒼と繁った樹木と急カーブの道路には驚きました。しかし、今回も前勤務地同様に自然に多く触れられるという期待感の方が大きいかもしれません。



前任者から神奈川病院の長所短所について概要を伺っていますが、この立地条件や自然に起因する短所をできる限り少なくし、あるいは有効活用できればと漠然に思っています。

事務部としては、ミス無くスムーズな事務処理はもちろん、より良い病院運営が継続できるよう知恵を出し、期待に応えることができればと思っておりますのでどうぞよろしく願いいたします。

薬剤部長 下川 亨明

本年4月より、薬剤部長として着任いたしました下川 亨明（しもかわ こうめい）と申します。3月までは国立国際医療研究センターに勤めておりました。

今までは、治験並びに臨床研究に携わる仕事が多く、患者さんとの接点がありませんでした。当院に着任してから、なんて家庭的な病院だろうと感じたしだいです。自分が病棟等に出向くことはあまりないかと思いますが、出向いた際はご挨拶などでお声をかけさせていただきますので、よろしく願いいたします。



現在、薬剤部は9名の薬剤師及び3名の薬剤助手で業務を行っております。まだ若手の薬剤師もおりますが、薬のプロフェッショナルとして、患者さん方へのサポートができるよう務めております。私も薬剤部長として患者さんを第一に考え、部員が患者さんたちへのサポートがしやすいように努めていきたいと考えております。これから、どうぞよろしく願いいたします。



能登半島地震災害医療班派遣活動より（1月21日から25日まで 5日間）

看護師長 小山 三枝子

1月21日（移動日）AM7:00、神奈川病院災害医療班として医師1名、薬剤師1名、看護師2名、事務職1名の合計5名で神奈川病院を出発しました。東名高速→関越自動車道→上信越道→北陸自動車道を經由し14:40に金沢に到着。翌日には輪島へ向かいました。

輪島に向かう途中の道路は部分的に亀裂や液状化による道路の盛り上がり、斜面の土砂が崩れているなど通行はかなり危険な状態でした。

穴水町に入ると車窓から多くの家屋が倒壊している様子が見えお正月を祝うしめ飾りが飾られた家屋もあり元日の家族が団らんでいた一瞬を襲った災害であったと想像できました。



1月22日（活動一日目）の活動は市立輪島病院の夜間診療を行いました。24時から3時までの3時間の間に、動悸を主訴とした患者さんが救急搬送され、私たちは受付業務から診療支援を行いました。幸いにも投薬などにより症状が落ち着き自宅に帰られましたが、慣れない避難所生活による疲労やストレスから身体症状につながったのかもしれないと思うと、早期に日常生活を取り戻すための支援が必要であると強く感じました。

1月23日（活動2日目）は集会所の被災者の方々の健康観察でした。集会所への訪問は私たちが初めてであったため、まず環境調査を行いました。11の方が生活をされており、お話を伺うと広い座敷で皆さん夜は一緒に寝ていらっしゃる様子でした。

一番困ることとして、水が使えずトイレの排水もできない為トイレにビニールを貼り固めて捨てる作業が大変であり仮設トイレが欲しいと話されていました。



80代の女性は被災されて苦労しているにもかかわらず、とても明るく「みんなで協力しながらなんとかやっています。ここにいる人達は初めて会った人達ばかりだけど、みんなと一緒にいると怖くないから」と話されていた声と表情がとても印象に残っています。帰る際に「がんばって下さいね」と声をかけると「がんばります。ありがとうございます」と笑顔で私たちを玄関で見送って頂いた時は、胸が詰まりました。仮設トイレの要望は早速輪島市役所で待機しているDMATに伝えました。

1月24日（活動3日目）は2つの避難所を訪問しました。

1件目は障害者施設の避難所へ行きましたが、そこには医師と看護師が常駐しており、被災者の方々のケアが十分にされている状況でした。

2件目は保育所で避難生活をされている方の健康観察に伺いました。この施設は前日もNHOの医療班が訪問していたため、あらかじめカルテから情報を得て、重点的に症状のある方々の診療を行いました。50代の男性から咳と痰があるため眠れないとの訴えがあり、鎮咳剤と去痰剤が処方され当院から持参した薬をお渡しできました。



インフルエンザに罹患して6日目のご夫婦は、保育所の1室にテントが張られ、その中で生活されていました。解熱されていたため感染には問題なかったのですが、咳が持続しており、咳をしていると他の皆さんがとても敏感になり、お互いに良い環境にならないとの配慮からしばらくはこのままでいたいと希望され、咳がもう少し収まるまで継続となりました。その他にも避難所に向かう途中で道を伺った住民の方からの情報で、新たに避難生活をされている場所を発見でき、本部に報告して次の医療班へ繋げることができました。

1月25日（移動日）3日間の輪島での活動を終え、前日宿泊したKKR金沢ホテルを9時に出発しました。途中前日から降った雪の影響で、道路は除雪されていましたが時折ホワイトアウトにより視界が見えづらくなるなか、慎重な運転により18時神奈川病院に到着できました。

現地での活動は3日間でしたが、被災者の方々の心労はとても大きいと思いました。被災状況は想像していた以上に大きく、電気は復旧されていても水道の復旧が十分でないため、私達もトイレは仮設トイレを使用し、排水ができないことで歯磨きも口をゆすげず、歯磨きシートなどを使用して汚れを除去するなど爽快感が全くなくとても不便さを感じました。食事は缶詰やカップラーメン、アルファ米が毎食続くと新鮮な野菜がとても食べたくまりました。そして何より入浴はもちろん洗顔することもできない日々が何日も続く状況は、とてもつらいことだと



実感しました。それでも被災者の皆さんが助け合いながら生活されている様子を直接伺うことができ、避難所にもリーダーとなる方がいてくれて心強いと思いました。当たり前と思っている日常生活の失われてしまったこの状況が1日も早く元に戻る日のためできることは全力で支援していかなければならないと強く感じた5日間でした。

出張講座はじめました！ ～南が丘中学校～

感染管理認定看護師 大渡 由美子

神奈川病院では、感染管理・皮膚排泄ケア・脳卒中リハビリテーション・慢性呼吸器疾患・がん性疼痛看護の認定看護師がおり、それぞれの専門性を発揮して活躍しています。今回、認定看護師活動の一環として、感染管理認定看護師が出張講座を行いました。

きっかけは、当院のホームページで出張講座の情報を閲覧された先生からのご依頼でした。「感染症の予防」をテーマに、学生さんが感染対策の基本を実践できるよう、講座内容を計画しました。



11月20日、南が丘中学校の保健環境委員会メンバー（私の世代では保健係でしたが）20名の学生さんが参加し開催しました。はじめに、感染予防の基本となる手洗いと手指消毒についてお話ししました。

次に、看護師の職場体験のひとつとして、使い捨てのエプロンと手袋の着脱を行いました。血液に見立てた絵具でエプロンと手袋を汚した後、絵具が付かないように正しい外し方を実践しました。

最後は手洗いです。手に蛍光剤を塗り、手を洗った後、洗い残しを専用の器械でチェックしました。「こんなに残ってる！」「ちゃんと洗えてない」と声が聞こえましたが、学生さんは冷たい水も気にせず、しっかり手洗いができていました。終了後、「もっとしっかり洗おうと思った」「家族にも感染させないように努力したい」「自分を守るよう手洗いから見直したい」などの感想がありました。



出張講座では、病院で働く医療従事者の仕事の様子についても紹介させていただきました。学生の皆さんにとって、将来の職業を考えるきっかけになればと思います。

今回は感染管理認定看護師が担当しましたが、他の分野においても出張講座が可能です。例えば、正しいスキンケアの方法や、高齢者・障害のある人の介護の方法、たばこや麻薬の害についてなど、中学生・高校生に向けてお話しできる機会を作れるよう、今後も活動を進めていきたいと考えています。

こころよく迎え入れてくれた南が丘中学校の皆さん、先生方、本当にありがとうございました。参加された学生の皆さん、感染予防は完璧です！これからも自分とご家族を守ってくださいね。

医療法人社団三喜会 鶴巻訪問看護ステーション

所長 設楽 千春

〒257-0001

神奈川県秦野市鶴巻北2-14-2

TEL 0463(76)1515



鶴巻訪問看護ステーション スタッフ

当事業所は1996年、秦野市第1号の訪問看護ステーションとして開設致しました。
医療や介護が必要になっても、住み慣れた自宅で安心・安楽に暮らせるよう24時間サポートできる『頼りになる訪問看護ステーション』をモットーに活動しています。
専門的な看護師も在籍し、緩和ケアや特定行為も実践し地域の在宅医療の一端を担っています。



ハーモニーケア 訪問看護ステーション

ハーモニーケアぷらん
(居宅介護支援事業所)

所長 佐々木 美保子

〒257-0004

神奈川県秦野市下大槻56番地14

TEL 0463(26)8045

<https://har-mony-care.com>



ハーモニーケア訪問看護ステーション
佐々木所長とポメラニアンのもこ君(看板犬)

“調和”(ハーモニー)を事業所の理念として創業し、おかげさまで17年が経ちました。
看護師、理学療法士、ポメラニアンのもこ君が在籍しております。
乳幼児から100才超のご高齢者まで日々笑顔と確かな技術で心に寄り添う看護を心がけております。
ケアプラン作成事業所も併設しております。どうぞお気軽にご相談ください。

各科診療担当医表

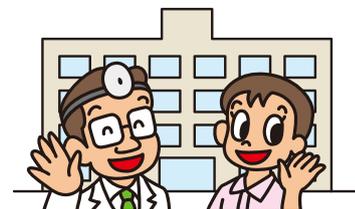
令和6年4月1日現在

科別	曜日	月	火	水	木	金
一般系	総合内科	小林 再診のみ 中村	荒木	大和田	沖	小林
	消化器内科	後町		【予】中島 (13:30~)	後町	
	糖尿病内科					森 (13:30~)
	循環器内科	内田 野村(秀) (9:00~)	吉田 (9:00~) 藤井	松崎(秀)	森木 永井 (9:00~) 【再】 【予】内田	森木
	呼吸器内科	大久保 浅野 (9:30~)	河合 田中	堀江 (9:30~)	布施川 荒木	大久保 浦野 (9:30~)
	神経内科		【予】大貫 (14:30~)			
外科系	脳神経外科		齋藤(良)	小杉 (9:30~)	齋藤(良) (9:30~)初診のみ	
	外科			前田	【予】櫻井 (13:00~)	鈴木(俊)
	消化器外科				杉浦	藤本
	呼吸器外科					
	整形外科	山本(宗)	山本(宗) 【装具外来】	野尻 (9:00~)	清水 (9:30~)	渡辺(隆) (9:00~)
	泌尿器科	浅沼				田野口
皮膚科			岩崎 (9:15~)		堀川 (9:15~)	

科別	曜日	月	火	水	木	金	
一般系	小児科	小児科	萬木(晋) 石井 (9:00~)	萬木(暁) (9:00~)	佐藤(ひ)	伊藤(直) (9:00~)	萬木(晋)
		小児アレルギー科	【予】渡辺(博) (14:00~)	【予】萬木(晋) (13:30~)	渡辺(博) (9:00~)	渡辺(博) (9:00~)	石井 (9:00~)
		小児外科 【第1、3のみ】	【予】佐藤(ひ) (14:30~) 【第2のみ 15:00~】		【予】萬木(暁) (13:30~)	予防接種 (第2、 第4のみ)	
		心療内科			【予】渡辺(博) (14:00~)		
特殊外来	てんかん外来 【第3のみ】					【予】杉山 (10:00 ~11:00 第3のみ)	
	睡眠時無呼吸 外来			【予】荒木 (13:00~) 再診のみ			
	透析室					山内 (13:00) 【第1-3】	

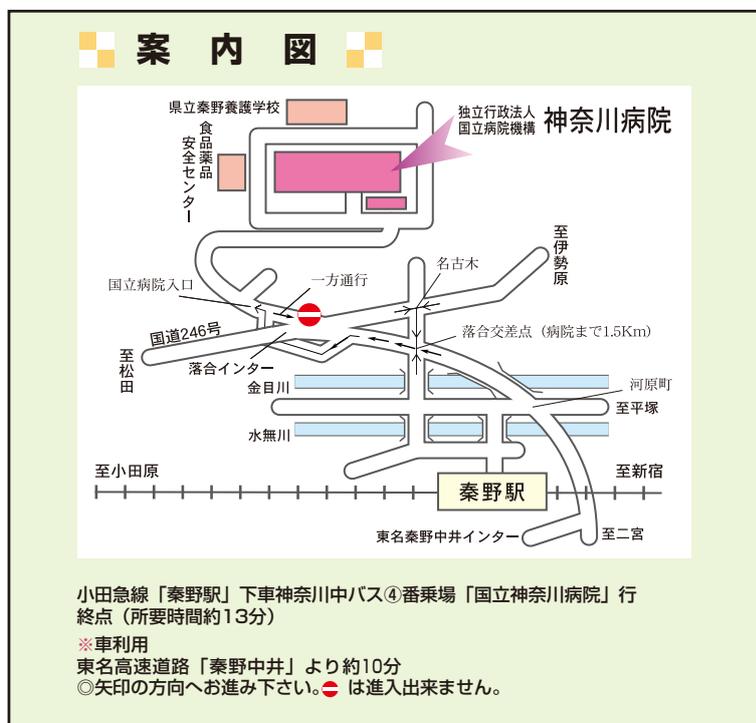
【担当医表の表記について】

- ①括弧書き(: ~)
…診察(開始)時間
- ②【〇〇のみ】…特定の診察日
- ③【予】…予約制



※担当医表に時間の記載がある日は、記載されている時間内の診療となりますのでご確認をお願いいたします。

発行責任者：中村 守男 編集：広報委員会



独立行政法人 国立病院機構 **神奈川病院**

〒257-8585 神奈川県秦野市落合666-1
TEL 0463-81-1771 FAX 0463-82-7533
URL <https://kanagawa.hosp.go.jp>

